

## 首都圏で販路を拡大させる

タウ  
TAUを活用



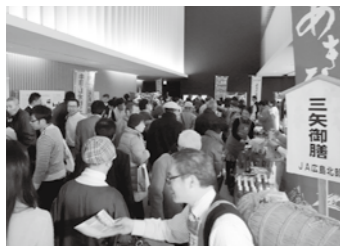
東京銀座にある広島県のアンテナショップ「TAU」。1月11日に、神楽団に所属する市職員が東京に出張する機会とあわせて、神楽講座と特産品販売を行った。

東京公演 物販



東京公演のロビーで、安芸高田市特産品の販売を行った。特産品や神楽グッズなど、あわせて約75万円を売り上げた。

広島北部農協と連携



ロビーには、広島北部農協のブースも設けられた。広島北部農協のスタッフが、安芸高田市産のお米「あきろまん」と「えびす茶」のPRと販売にあたった。

## 人と人をつなぐ

ふるさと応援の会関東支部



今回の公演は、平成26年8月に設立した「ふるさと応援の会関東支部」が初めて関わる大きな催し。入場券販売と集客に大きな力を発揮していただいた。

ボランティアスタッフ



この東京公演を応援したいと、これまでの公演鑑賞者の中から20名が名乗りを上げ、ボランティアスタッフとして、運営に協力していただいた。

広島県東京事務所



東京には、広島県の職員が在駐する広島県東京事務所がある。この神楽公演を県のPRとも位置づけていただき、運営に5名の県職員が参加。結果的に市職員の派遣人数を抑えることができた。

## 神楽の知名度を高める

東京公演の開催



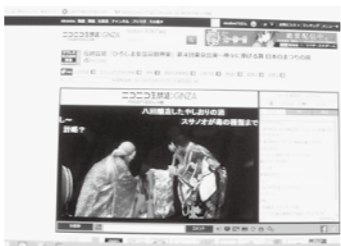
東京公演の入場券は昨年12月末までに早々と完売した。アンケート回答によると、初めて鑑賞した方の割合は44%。着実に、神楽ファン、安芸高田市ファンを増やしている。

千葉テレビの活用



11月に千葉県成田市で開催された「日本のまつり」に日吉神楽団が出演。その際、千葉テレビを訪れて神楽のPRをした。千葉テレビの視聴可能エリアは、広島県の7倍にあたる710万世帯。

ニコニコ動画生放送



インターネットの動画共有サイト「ニコニコ動画」で、東京公演を生中継した。約3万5千人の閲覧者の内97%が良かったと回答した。

## 首都圏から誘客を図る

成田空港発 神楽鑑賞ツアー



成田空港と広島空港が、春秋航空日本によって結ばれている。この飛行機を利用して販売されているのが、神楽鑑賞ツアーである。1月から9月まで68回計画され、3月までは1人19,800円で販売されている。

電話での問い合わせ

日本空輸株式会社

東京旅券センター

☎050-3536-7909

【営業時間】平日10時～18時

土曜10時～15時

【休日】日・祝日

クチコミが一番のPR

第1回から第4回の東京公演では、公演のことを知った方法で「家族・知人からの紹介」が非常に多くなっていました。この度のツアーは、安芸高田市を訪れる良い機会です。首都圏にお住まいのご家族の里帰りやご親戚、ご友人の訪問などの際にも活用できますので、ぜひ、皆様からもお伝えいただき、安芸高田市への誘客を促進しましょう。



## 神楽を通じたつながり

### —神楽東京公演と首都圏での取り組み—

1月24日（土）、第4回目となるひろしま安芸高田神楽東京公演を千代田区大手町の日経ホールで開催しました。この東京公演は、安芸高田市が誇る伝統芸能の神楽を広く首都圏にPRするとともに、神楽ファンを増やし、首都圏から安芸高田市を訪れるきっかけにつなげていくことを目指した取り組みです。

今回の特集では、この東京公演をきっかけとして、現在、市が関係機関と連携しながら、取り組んでいる各種事業を紹介します。

江戸時代にこの地に伝わり、現代まで受け継がれている神楽。秋祭りにお宮で舞われる伝統的な郷土の芸能でした。お祭りの日には、家族や親戚が集まり、神楽を楽しんでいました。

神楽を見て素晴らしいと感じた人たちは、神楽を見るために、上演される地を訪れるようになります。「神楽があれば人が集まる」。まちのイベントや、各種行事などにも神楽が登場するようになりました。イベントの成功はどれだけ人が集まるか、そのカギを神楽が握るといふまでの位置づけになりました。

平成10年、神楽門前湯治村が完成しました。神楽をテーマとする地域活性化のための施設です。雇用の創出、地元でとれた農産物の活用など、経済的な効果にも波及しています。平成23年からは、毎週末、安芸高田市22神楽団が交代で神楽を上演。4月～11月までの昼の公演には、平均約500人が、金曜・土曜日の夜の公演には、平均約100人が神楽を楽しんでいます。

こうした神楽を通じたつながりの輪を日本中に広げようとするのが、神楽東京公演や高校生の神楽甲子園をはじめとする様々な取り組みです。現在、「神楽の知名度を高める」「首都圏から誘客を図る」「首都圏で販路を拡大させる」「人と人をつなぐ」という4つの柱を基本に取り組みを進めています。

第4回目となる東京公演に出演したのは、桑田天使神楽団。2部構成の公演で、6演目を演じた。2部あわせて約1,200名が神楽を鑑賞。鑑賞後のアンケート集計では、回答者の80%の方が公演内容を「すごく良かった」と評価。改めて、私たちの地域の神楽は、人々を魅了する伝統芸能であることが伺えた。